

# 目 次

はじめに	1
1 ワーク・ライフ・バランスの現状	2
(1) 男女の働き方の現状	2
(2) 企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進状況	3
2 企業実態の分析から見たワーク・ライフ・バランスの定着	4
(1) 経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス	5
ア ワーク・ライフ・バランスは従業員の意欲向上に役立つ	5
イ 人材確保等の企業メリットにつながる	6
ウ 長時間労働はリスクであり、生産性を高めない	8
エ 社会的責任を果たす企業としてイメージが向上する	9
オ 顧客・取引先や消費者の理解を促進する	10
(2) 人事評価・処遇など	12
ア 育児・介護にとどまらず、仕事と生活の調和を図る制度を導入する	12
イ ワーク・ライフ・バランスを安心して実現できる人事制度を構築する	13
ウ 業務知識・スキルの低下などに対する不安を解消する	15
エ パートタイム労働者等の雇用環境を改善する	16
(3) 職場のマネジメント	18
ア 管理職の意識改革を促し、マネジメント力向上を図る	18
イ 業務の見直し等により両立可能で生産性の高い組織をつくる	20
ウ お互い様意識の醸成をはかる	22
(4) 個人の意識改革	23
ア 制度等に関する正確な知識を身につける	23
イ 実践に向けた職場でのコミュニケーションを行う	23
ウ 自分自身のキャリア・ライフデザインを明確にする	24
図表	25
付属資料	41